

物理学委員会物理教育分科会（第26期・第3回）

議事要旨

日時 令和6年6月25日（火）10:00～12:00

会場 オンライン開催

出席者：新永浩子委員（委員長）、横山広美委員（副委員長）、市川温子委員（世話人）、板倉明子委員、藤井良一委員、関口仁子委員、藤澤健太委員、笠潤平委員（幹事）

内田昭利氏（参考人：大分大学大学院教育学研究科教授）

欠席者：中山迅委員、早瀬潤子委員、渡部潤一委員

配布資料：・【議事次第】物理学委員会物理教育分科会（第26期・第3回）
・【議事要旨】物理学委員会物理教育分科会（第26期・第1回）
・【議事要旨】物理学委員会物理教育分科会（第26期・第2回）

議事

（1）前回の議論の確認と報告

第1回会合（令和6年2月29日）および第2回会合（メール審議、令和6年4月23日～令和6年5月2日）の議事内容を確認した。また、この間、物理学委員会の腰原委員長より本分科会の新永委員長に、数理学委員会および情報学委員会からの連携の希望について情報提供があり、後者の佐古幹事から直接連携の打診があったこと等が報告された。

（2）物理教育研究の概要と最近の研究から

内田昭利氏（大分大学大学院教育学研究科教授）より講演が行われた。講演は、公立中学生の各教科別成績の3年間の追跡結果の男女別の比較分析、中学生、高校生、教員養成学部生を対象とした、本人の回答上の数学嫌い・理科嫌いと教科に対する潜在的なイメージの調査結果とのギャップの男女別の比較分析などを中心とした。その後、質疑応答と意見交換が行われた。

（3）今期取り組むべき課題について、および（4）本委員会からの発信と今後のスケジュール

次回以降の会合において外部から招く講演者の候補が挙げられた。また、学術会議の他の委員会とのジェンダー問題に関する連携（合同シンポジウムの開催を含む）の可能性などについて検討することを確認した。

（5）追加幹事の選出について

新永委員長から、分科会幹事の追加の提案があり、委員長が委員への打診に当たることが確認された。

(6) その他

日本学術会議ホームページ上に掲載する本会合の議事要旨の作成について、委員長に一任することが確認された。